

2008年度／2009年度

日本建築学会学術推進委員会報告会

海洋建築委員会
研究活動報告

2010. 3. 19

海洋建築委員会 委員長
横内憲久

■ 08～09 海洋建築委員会の構成

本委員会 20名 委員長 横内憲久 幹事 各主査

広報ワーキンググループ

主査 藤田謙一 幹事 川上善嗣

・ **海洋建築構造小委員会** 主査 濱本卓司(幹事 藤田謙一)

・ **海洋建築デザイン小委員会** 主査 居駒和樹(恵藤浩朗)

・ **海洋建築計画小委員会** 主査 小林昭男(三溝裕之)

・ **海洋建築建設工法小委員会** 主査 野口憲一(川上善嗣)

海洋建築委員会における研究等の変遷

○1975 海洋委員会創設

固定式海洋建築指針／浮遊式海洋建築指針
海洋建築計画指針／海洋建築環境指針
海洋建築用語事典 等

— task force 方式（委員会統一テーマ）—

①2000～2004 都市機能補完型海洋建築

②2005～2006 アダプティブ海洋建築

○2007 海洋建築委員会（改称）

③2007～2009 海洋建築アーカイブス

■活動報告① 2007～2009

●小委員会イベント

- ・海洋建築ミニシンポジウム(構造小委員会／工法小委員会)
- ・ウォーターフロント見学会(計画小委員会／デザイン小委員会)

●他学会との連携

- ・海洋工学(造船系)シンポジウム(海洋建築委員会セッション)
- ・日本海洋工学会 中西賞選出
- ・日本沿岸域学会

●提言等

- ・海洋基本法に対する提言

■活動報告②

2008年度

・海洋建築ミニシンポジウム2

「海洋建築物の構造設計と
施工技術」

・海外事例報告会

「ドバイにおける海洋建築
の現状」

・大会研究協議会

「厳島神社にみる海洋建築の技と匠」



セメント船



ドバイ・パームツリー

■活動報告③

2009年度

・海洋建築ミニシンポジウム3

「海洋建築物の利用と構造
設計・施工技術」



軍艦島

・大会研究協議会

「都市再生を促す海の活
用術～海に浮かぶ施設～」



フローティングスタジアム

■ 08～09 研究活動

● 海洋建築アーカイブス（記録を残し、課題を検討）

① 固定型海洋建築物（海中展望塔等）の調査研究

② 浮体式海洋建築物の調査研究

〈調査内容〉

- ・ 計画のコンセプトと現状の利用状況
- ・ 環境影響の現状と配慮の状況
- ・ リスクマネジメントの内容
- ・ 建設に関係した法制度
- ・ 常時および非常時の安全管理
- ・ ファイナンスの現状 ほか

■活動報告④

- ・海洋建築アーカイブス1
- 海中展望塔

これまで8カ所で建設された海中展望塔

- ①白浜海中展望塔 (1969年) : 固定式
- ②部瀬名海中展望塔 (1970年) : 固定式
- ③串本海中展望塔 (1971年) : 固定式
- ④足摺海底館 (1971年) : 固定式
- ⑤波戸岬海中展望塔 (1974年) : 固定式
- ⑥勝浦海中展望塔 (1980年) : 固定式
- ⑦紋別氷海展望塔 (1996年) : 固定式
- ⑧飛島海中体験丸 (1997年) : 浮体式



■活動報告⑤

・海洋建築アーカイブス1

●海中展望塔



勝浦海中展望塔



足摺海底館



串本海中展望塔



紋別氷海展望塔



部瀬名海中展望塔

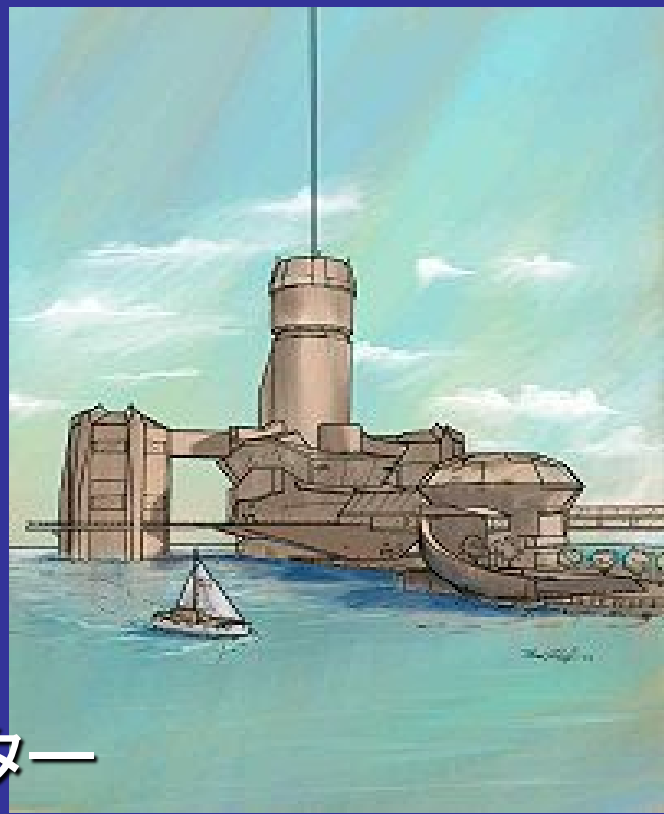


白浜海中展望塔

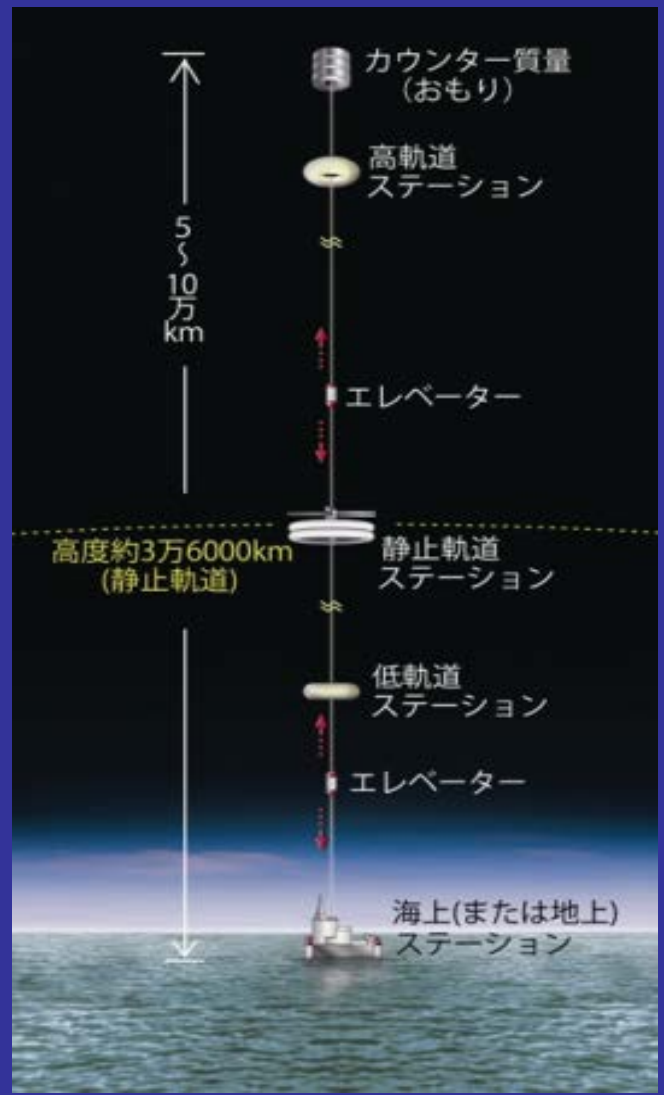
■活動報告⑥

・海洋建築アーカイブス2

●浮体式建築物



宇宙エレベーター
海上ステーション



■活動報告 ・ 海洋建築アーカイブス2

●浮体式建築物



浮体式水上レストラン(東京・天王洲)



フローティングスタジアム(シンガポール)



～今後の展開～

海洋建築アーカイブスから新たな展開を捉える

- ・フローティングの可能性と普及を考える
- ・海を活用した環境問題の解決を考える
- ・海を活用した防災対策を考える
- ・海を活用したエンターテイメントを考える
- ・海洋建築の経済性や新たな法制度を考える
- ・
- ・

海洋の環境からまちづくり・建築を考える

終